

主な記事

2面:春闘方針素案(3面まで)
3面:大阪連定期大会、全自交連定期大会
4面:大交連定期大会、全自交連定期大会

全自交しんぶん

第1206号

12月15日

(有料制1030号)
2020年/令和2年

THE ZENJIKO
全自交しんぶん
発行=全国自動車交通労働組合連合会

20春闘でこぶしを突き上げる全自交の仲間



2021春闘方針素案(要旨)

団結力でコロナ危機を乗り越える2021春闘
社会の脆弱さを賃上げで克服

はじめに

新型コロナウイルスの拡大は、これまで蓄積されてきた社会の矛盾をあぶり出すと、

新型コロナ感染症の拡大は、これまで蓄積されてきた社会の矛盾をあぶり出すと、

「交通崩壊」が叫ばれる程、深刻な危機をつくり出している。

服するために積極的に闘い支えらるるとともに、近年では路線バス撤退後のデマンド交通や児童の通学も担っている。

I. 春闘を取り巻く情勢と課題

1. 新型コロナウイルス感染症状況

一時的な収束を見せた新型コロナウイルス感染症ですが、7月

2. 世界情勢

全世界で新型コロナウイルス感染症により、9000万人

3. 国内情勢

日本経済は、新型コロナウイルスの感染拡大が社会を襲い、

4. 倒産・廃業の加速と失業者の増加

戦後最大の危機となったコロナ危機を乗り越える政治選択

5. 賃金の低下

コロナ危機により、賃金の下落が鮮明になっていきます。

6. 賃金の低下

コロナ危機により、賃金の下落が鮮明になっていきます。

7. 賃金の低下

コロナ危機により、賃金の下落が鮮明になっていきます。

8. 賃金の低下

コロナ危機により、賃金の下落が鮮明になっていきます。

9. 賃金の低下

コロナ危機により、賃金の下落が鮮明になっていきます。

10. 賃金の低下

コロナ危機により、賃金の下落が鮮明になっていきます。

11. 賃金の低下

コロナ危機により、賃金の下落が鮮明になっていきます。

コロナ危機により、賃金の下落が鮮明になっていきます。

(一面より続く)

経済状況がコロナ前に戻る... 2023年~24年という予想も出されており、雇用不安が高まる中の長期にわたる賃金下落が消費意欲を一段と低下させ回復を遅らせる要因

II. ハイタク産業の動向

1. 感染拡大によるタクシーの営業収入への影響

緊急事態宣言が発せられた4月・5月に全国平均で対前年比37%台まで激減しました... 66.8%まで回復しました

3. ライドシェア導入をめぐる動き

新型コロナウイルスの感染拡大と東京五輪の開催延期でライドシェア解禁の動きは弱まり、謝罪の感念が懸念されます

2. 自治体のタクシー支援の広がり

国は総額3兆円の地方創成臨時交付金を確保し、新型コロナ対策を講ずる中、全自治体から要請行動を展開し、タクシー産業の苦境を訴え地域公共交通を守る取り組みを自治体に求めました

新型コロナウイルス感染症は、公共交通の需要を急激に奪い、「交通崩壊」の危機を作り出しています

生活に欠かせない公共交通は緊急事態宣言が発せられた期間も国交省から事業の継続を要請され、感染リスクを抱

4. タクシー適正化・活性化に向けた課題

国土交通省は「新型コロナウイルスの影響で輸送実績の急減が明らか」として準特定地域の指定解除を2021年9月31日まで見送ることをしました

5. タクシー労働者の賃金・労働条件

2019年タクシー運転者(男)の全国平均・月間実労働時間は、195時間です

6. 賃金・労働条件改善の要求

1. 2021春闘の賃金要求 ●コロナ関連要求 1. タクシー乗務員は新型コロナの感染リスクを日々抱

III. 春闘の取り組みの基調

1. エッセンシャルワーカーにふさわしい賃金に改善

コロナ危機の長期化の影響で営業収入が激減し、タクシー労働者の生活は困難を極めており、感染リスクを抱

2. 他産業との格差を是正し、魅力のある労働条件を！

コロナ危機により需要が激減し、「交通崩壊」の危機が

IV. 賃金・労働条件改善の要求

1. 2021春闘の賃金要求 ●コロナ関連要求 2. 雇用調整助成金(コロナ特例)の制度活用を促し、休業手当の「平均賃金100%」支給を求めると

3. コロナの感染拡大による急激な需要減退が起きた場合には、労使の真摯な協議と合意のもとに勤務シフトの変更や休業の実施規模等を決定することを要求します

1. 改正タクシー特措法の施行時の国会附帯決議である、①累進歩合の廃止、②固定給と歩合給のバランスの取れた給与体系の再構築、③運転者負担の見直し、④過度な遠距離移動の是正、⑤過労防止対策

4. 「ブラック企業」を追い出し、適正賃給・適正運賃の確立へ

コロナ危機による需要の長期減退の中で適正車両数について真剣に協議し、適正賃給を確立することで法律の趣旨・目的である労働条件の確保・向上を実現する必要があります

V. ハイタク産業の政策要求

1. 新型コロナ感染拡大による「交通崩壊」を防ぎ、公共交通を守る取り組み

①乗務員の感染防止のためマスク・消毒液等の資材の確保について支援を求めます

2. 収入減による生活困難を緩和する

①乗務員の感染防止のためマスク・消毒液等の資材の確保について支援を求めます



挨拶する加藤委員長

大阪地連定期大会

新委員長に森田貫二氏を選出

加藤直人委員長 争議に全力挙げた8年、運動の継承を

全自交大阪地連（加藤直人 委員長を確立しました。執行委員長は11月8日、大阪市中区の「エルおおさか」で第75回定期大会を開き、猛威を振るう新型コロナウイルスへの対応を柱とした新年度運動方針を決定し、新たな役員体制を確立しました。

主権者を代表して挨拶に立った加藤委員長は8年間務めた執行委員長としての任務を振り返り、「この間、労働者を振り回し、「この間、労働者を振り回し、「この間、労働者を振り回し」と述べました。

全自交朝日自動車労組の救済申立て 会社がチェックオフ認める

大阪地連の全自交朝日自動車労働組合（辰隆博委員長）は昨年11月5日、大阪府労働委員会に不当労働行為の救済申立てを行いました。第9回調査が11月26日に大阪府労働委員会が開かれ、自交総連系の組合に認めているチェックオフを全自交系の組合には認めないことが不当労働行為に該当するかどうかについて審査が行われました。会社側はこの日の労働委員

その後、活動経過報告と新年度運動方針案、予算案を提案し、満場一致で承認されました。

任期満了に伴う役員改選では、執行委員長に、森田貫二氏（新任・全相互タクシー労組）、副執行委員長に権藤輝雄氏（新任・大阪トシボ交通労組）と山里広明氏（再任・新大阪タクシー労組）、書記長に橋口学氏（全相互タク

大阪地連の全自交朝日自動車労働組合（辰隆博委員長）は昨年11月5日、大阪府労働委員会に不当労働行為の救済申立てを行いました。第9回調査が11月26日に大阪府労働委員会が開かれ、自交総連系の組合に認めているチェックオフを全自交系の組合には認めないことが不当労働行為に該当するかどうかについて審査が行われました。会社側はこの日の労働委員

その後、活動経過報告と新年度運動方針案、予算案を提案し、満場一致で承認されました。

任期満了に伴う役員改選では、執行委員長に、森田貫二氏（新任・全相互タクシー労組）、副執行委員長に権藤輝雄氏（新任・大阪トシボ交通労組）と山里広明氏（再任・新大阪タクシー労組）、書記長に橋口学氏（全相互タク

その後、活動経過報告と新年度運動方針案、予算案を提案し、満場一致で承認されました。

任期満了に伴う役員改選では、執行委員長に、森田貫二氏（新任・全相互タクシー労組）、副執行委員長に権藤輝雄氏（新任・大阪トシボ交通労組）と山里広明氏（再任・新大阪タクシー労組）、書記長に橋口学氏（全相互タク

その後、活動経過報告と新年度運動方針案、予算案を提案し、満場一致で承認されました。

任期満了に伴う役員改選では、執行委員長に、森田貫二氏（新任・全相互タクシー労組）、副執行委員長に権藤輝雄氏（新任・大阪トシボ交通労組）と山里広明氏（再任・新大阪タクシー労組）、書記長に橋口学氏（全相互タク

（2面より続く）

（2）事業支援と利用者への支援

①生活に欠かせない公共交通としてタクシーの事業が継続できるよう、融資制度だけでなく減収分を補う特別な支援金や運行経費を直接支える支援制度を確立するよう要求します。

②新型コロナウイルス感染症拡大により、外出時の感染リスクが高まることから、妊婦、高齢者、障がい者等の交通弱者が安心して買い物や検診・診察等ができるよう、タクシー利用券の配布を要求します。

③タクシーの有償貨物運送の利用継続のために配送料の助成措置を延長するよう要求します。

④新型コロナウイルス感染症拡大で大きな影響を受けた飲食店やタクシー事業を支えるため、感染状況を見ながらプレミアム付きタクシー利用券やタクシー利用にも併用できる飲食券を発行するなど、効果的な経済対策を要求します。

⑤労働条件の向上と適正利潤が捻出されるよう、適正な賃金を要求します。

⑥改正タクシー特措法を実施するにあたっては、効性あるものとするために、特定地域の指定基準の見直しを求め、新型コロナウイルス感染症拡大で労働条件が大幅に低下した地域を特定・準特定地域に指定し、悪化した労働条件の改善のためにコロナ禍における適正台数と運賃の適正化及び感染防止策、タクシー事業の活性化策を協議・実行するよう求めます。

⑦労働条件の向上と適正利潤が捻出されるよう、適正な賃金を要求します。

⑧相乗りタクシー、定期券タクシー、変動運料金等の新たな運賃制度が導入されませんが、その新たな運賃制度の導入が運送収入を低下させ、また、労働者にリスクを負わせることのないよう、しつかりと検証し、運送収入の低下や労働者負担の増加が懸念される場合は事業者判断で導入しないよう求めます。

また、新たな運賃制度の導入に当たっては、実証実験段階から労働組合との協議機

監督実施事業者数	323
●労基法違反数	295 (91.3%)
主な違反事項	
労働時間	161 (49.8%)
賃金	108 (33.4%)
休日	14 (4.3%)
●改善基準違反数	122 (37.8%)
主な違反事項	
最大拘束時間	84 (26.0%)
総拘束時間	68 (21.1%)
休息期間	22 (6.8%)

重審議を求める地方議会の意見書採択運動を引き続き取り組みます。

（2）ライドシェア不要の「地域公共交通計画」作成推進

①改正地域公共交通活性化・再生法に基づきライドシェア不要の「地域公共交通計画」を作成するよう関係自治体への働き掛けを強めます。また、タクシーを地域公共交通の拡大に反対します。

②ライドシェア反対又は慎重に、関係自治体の事業を集中投資「する」として、構想の事例として、高齢者の通院に「ボランティア・タクシー」を公募し、2021年春には区域指定して「先端的サービス」の開発・インフラ整備等に反対

①政府が進める「スーパーシティ構想」は、2020年12月を目途にスーパーシティを公募し、2021年春には区域指定して「先端的サービス」の開発・インフラ整備等に反対

VI. 闘いの進め方

1. 春闘体制の強化

1. 各地連・地本及び各単組・支部においては春闘討論集会や学習会、決起集会等の職場集会を開催し、春闘情勢、方針を統一し、闘いの集中化を図ります。

2. 要求の提出と妥結の集中化

1. 全自交労連第99回中央委員会において2021春闘方針を決定し、それ以降は中央執行委員会のメンバーによる中央闘争委員会を立ち上げ、春闘の情報交換と指導の強化をはかります。

2. すべてのブロック組織、回答指定日は3月〇〇日とします。

3. 春闘における組織拡大の行動展開

1. 各単組・支部は、職場の未加入者に対し、春闘期間中に組合加入の働きかけを強化します。執行委員会等で具体的な加入拡大目標とオルグ担当を決めて加入促進をはかります。とりわけ正社員の全員加入、嘱託・定時制の加入促進をめざして全力で取り組みます。

2. 地連・地本は、春闘時に地域の全自交未加盟組合や未加入の仲間との交流を組織し、学習会への参加や春闘の情報交換、共同行動を重ねて全自交加盟や労組結成を働きかけます。また、アンケート等を通して対象職場の情報を得ながら、地域の賃金相場を伝え、職場課題の解決を

ポットして、労働条件改善とともに、「公正競争確保」同一地域における労働条件統一の重要性を訴えます。

3. 春闘期間中に、交通労協やハイタクフォーラムをはじめ幅広い共同行動を組織し、国自治体による公共交通を守るための支援策の必要性やライドシェア反対の行動を組織します。

(株)大館・花矢交通「開業を祝う会」 統合果たし新会社でスタート



(株)大館・花矢交通本社のタクシー乗り場

労働組合関係者が秋田県大館市に設立した株式会社大館・花矢交通は12月1日、運輸局からタクシー事業の経営許可を受け、2日に湯瀬温泉で「開業を祝う会」を開きました。新会社は、地元で長年社として設立しました。新会社は、過去に倒産を乗り越え

て労働組合の自主経営を続け、自交関係者が出資者となり、谷地田氏を代表取締役、大館タクシー労働委員長の小嶋氏、前花矢タクシー労働書記長の石川氏を取締役とする会社として設立しました。新会社は、過去に倒産を乗り越え

新会社は雇用を守りコロナ禍を乗り越えるための取り組みでもある。地域住民の移動を支えるとともに、しっかりとサービスを提供し、利用者から信頼される会社にした」と抱負を語りました。伊藤中央執行委員長は来賓

また、旭川市の乗務員への慰労金支援を伝え、自治体要請強化も呼びかけました。意見交換では、「賃金低下に不満もあるが、設立時の原点を再確認し、団結して乗り越えていきたい」、「夜間の稼働低下が深刻で会社の固定費を捻出することも大変。自治体への支援要請等で連携した取り組みを強化したい」との意見が出されました。融資も

「開業を祝う会」には秋田県内でもっとも頑張ってきたユニオン交通大館タクシーの岩谷取締役(秋南タクシー労働組合委員長)とともに、全自交労働の伊藤中央執行委員長と高橋書記次長、全自交東北地連の江良委員長と森書記長が駆けつけ、開業を祝い、関係者を激励しました。

谷地田社長は「新型コロナウイルスの影響もあり厳しい状況での開業となったが、統合した場における万全の感染対策等を配慮して開催しました。大会では2019年度活動報告と決算報告、2020年度運動方針と予算を決定するとともに、静岡ハイタク連合会との全自交中部地連加盟が提案され、満場一致で承認されました。その後、役員の変更が行われ、本委員長(愛知地連)、石橋副委員長(富山地連)が再選。杉山書記長(愛知地連)が退任し、新たに岡山書記長(愛知地連)が選出されました。大会の中で静岡の新規加盟を記念して新調された組合旗を各県連代表で掲げ、更なる団結を確認しました。

講演で高橋書記次長は、全国の営収の回復状況を示すとともに、全自交自主経営会社で休業を解消し、7月から異字転換している職場の事例を紹介。全自交自主経営9社の一般管理費率を比較し、管理部門の効率化が経営維持にとって重要である点を強調しました。

全自交中部地連第9回定期大会 静岡ハイタク連合会の加盟を承認



新規加盟を記念して新調した中部地連の組合旗

全自交中部地方連合会(本田有執行委員長)は11月11日、長野県の「THE SAITH OKUKAN HOTEL」で第9回定期大会を開きました。新型コロナウイルスの感染が再び広まりをみせている中、大会の開催自体が危ぶまれましたが、今大会は長野地連の統合問題と静岡ハイタク連合会の加盟という二つの大きな課題があり、何としても集まって開催したいという本田委員長の強い思いから、会

全自交兵庫地連第50回定期大会

白タクの増長・ライドシェア拡大に反対



感染防止を考慮して開かれた定期大会の様子

全自交兵庫地連(北坂隆生委員長)は、11月7日、第50回定期大会を神戸市中央区の神戸市教育会館で開きました。大会にはコロナ感染防止のため来賓者は招かず、出席した役員、代議員も17名という縮小開催となりました。大会では、新型コロナウイルス感染で危機的状況を強いられるハイタク産業で働く労働者の命と生活と雇用を守るため、北坂委員長は、挨拶で「コロナ禍でハイタク業界も壊滅的な状況になっている。3月の小中高の一斉休校、4月の緊急事態宣言の発令で、3月以降、売上額が極端に落ち込んだため、タクシー乗務員は生活維持が難しくなっている。白タクの増長・ライドシェアの拡大につながる方向に進んでいるのではないかと危惧を示しました。その後、活動報告を雪岡清二書記次長が、新年度運動方針案と予算案を成田次雄書記長がそれぞれ提案し、審議した結果満場一致で承認されました。最後に、北坂委員長の音頭で団結カンパロウを三唱して奮闘を誓い合いました。

また、「菅政権は、規制改革会議の中でライドシェアを進めようという議論がある。組織率を阻止しなければならぬ」と訴えるとともに、自家用有償運送について「このままのタクシー運賃の2分の1以下という料金設定が、必要であればこれ以上取ってもよいということが検討されている。白タクの増長・ライドシェアの拡大につながる方向に進んでいるのではないかと危惧を示しました。その後、活動報告を雪岡清二書記次長が、新年度運動方針案と予算案を成田次雄書記長がそれぞれ提案し、審議した結果満場一致で承認されました。最後に、北坂委員長の音頭で団結カンパロウを三唱して奮闘を誓い合いました。

経営の健全化で命・雇用・生活を守る

全自交岩手地連は11月31日、盛岡市内で自主経営研修会を開き、森委員長をはじめ玉川一関、釜石支部から6名が参加し、全自交労働から高橋書記次長が出席しました。各社の経営状況を報告し、職場の課題について共有し、今後の対策を協議しました。会議では、①雇用調整助成金の受給状況、②標準報酬月額のコロナ休業特例申請状況、③GOTOトラベルの利用状況、④自治体への支援要請や検討課題が出されました。



講演で高橋書記次長は、全国の営収の回復状況を示すとともに、全自交自主経営会社で休業を解消し、7月から異字転換している職場の事例を紹介。全自交自主経営9社の一般管理費率を比較し、管理部門の効率化が経営維持にとって重要である点を強調しました。